

所持品		合計装甲中：	20	合計回避：	0
対オーヴァード装甲車					
リターナーズクローク					
ウェポンケース					
コネUGN					

ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タ イ ス	消 費	
遺産継承者	P	N			
武器を託した子供たち	P	N			
義理の両親	P	N			
フィン・ブースロイド	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			

最大財産P:	6	残り財産P:	
--------	---	--------	--

[illegible]

元UGN本部エーゼントにして、現在はRラボに所属する研究者。

十三本目のゾディアックウエポン「ZW-113：Opheuchius」の発見者であり、その危険性を誰よりも理解する人物でもある。過剰浸食によって隔離されていたOpheuchiusを徹底的に解析し、人間性を維持したまま運用できる限界まで浸食率を調整。その研究成果として、Opheuchiusを基にした十二本のゾディアックウエポンを新たに作り出した。

現在はRラボでゾディアックウエポンの適合者となったチルドレンたちの身体調整、武器の整備、そして戦闘訓練を担当している。

普段は白衣を纏い、穏やかな笑みを浮かべる温厚な博士。柔らかな物腰で誰とも接し、教え子たちの相談にも気軽に耳を傾ける。その姿から、チルドレンたちには敬愛と親しみを込めて「博士」と呼ばれている。

彼らにとって天馬は、研究者であり、教官であり、時には父親代わりでもある存在だ。

戦場で生き残る術だけでなく、「力」とどう向き合うか」という生き方で教え続けている。

一方で未知の現象への探究心は一人倍強く、新たな発見を前にすると少年のように目を輝かせ、「……興味深い。」と静かに呟くことも。

現役時代はバールとモルフェウスを組み合わせた重力使いとして名を馳せた。

物質を重力で極限まで圧縮して生み出した岩石性の無数の魔眼を戦場へ展開し、斥力で攻撃を退け、圧倒的な重力で敵を制圧する戦法を得意とする。

幾重にも浮かぶ魔眼は小惑星帯のように敵を包囲し、最後には融合した巨大な魔眼が天より落下する。

その壮大な戦いぶりから、「アステロイドベルト」のコードネームで知られている。

「人を守るために未知を知る。」

それが、天馬恒一郎という研究者が生涯貫き続ける信念であり、今日もまた教え子たちを見守りながら、新たな興味を探し続けている。